

平成 30 年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：31002
学校名：札幌市立中央中学校

改訂のポイント		<p>○「学ぶ意欲」に関して、授業での学習事項の理解を促すために、机間指導などの教師の個別支援方法を工夫する。</p> <p>○「活かす力」に関して、仲間との協働的な学習を支援し、言語活動を通じた深い学びを促す。</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆授業での基礎的・基本的な学習事項の理解を高めるとともに、計画的な家庭学習を身に付ける。</p> <p>☆協働的な学びが学習課題の解決に役立つことを実感させ、他者に自分の考えを発信することで、学ぶ意欲を高める。</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】 授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組むよう、学習課題を生徒自身がつかむような工夫する。</p>	<p>【成果】 ⇒授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。(78.4%)</p>	<p>【課題】 ◇分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。(67.9%)</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】 授業中、自分の意見を進んで発言できるよう、仲間との協働的な学びを促す。</p>	<p>【成果】 ⇒習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。(90.0%)</p>	<p>【課題】 ◇意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。(79.4%)</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】 普段から、計画を立てて学習するよう、日々の学習状況の把握と助言を行う。</p>	<p>【成果】 ⇒新しく習ったことは、繰り返し練習をしている。(60.0%)</p>	<p>【課題】 ◇普段から、計画を立てて勉強している。(45.6%)</p>
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>「学ぶ意欲」を高める工夫を行い、他者との協働的な学びを通して、学んだことを活用するような支援を行う。</p>		
	具体的な改善策(取組)	<p>○学習する事柄の必要性(学びの必然性)を生徒が感じるような授業導入の工夫を行うこと。自分の考えを書く場面で、教師の机間指導によって個別支援を行うこと。</p> <p>○授業での学習支援とともに、日々の家庭学習の状況について「学習記録シート」や「テスト勉強計画表」を活用し、計画的な学習方法について支援を行うこと。</p> <p>○少人数学習グループなど、他者との協働的な学びを通して自分の考えを述べて、他者の考えと比較する学習活動を行うこと。さらに、他者との意見交流で、間違っている傾聴する環境の醸成と教師の形成的評価を適切に行うこと。</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○札幌市「学習などについてのアンケート」(7,12月)の関連項目での見取り</p> <p>○本校独自の「各教科の学習指導に関するアンケート」(7,12月)の関連項目での見取り</p> <p>○本校独自の「校内研修会」での各教科の研究授業実践からの見取り</p>		